

「若い女性医師たちの支援」 ～医師会ができること～

鹿児島県医師会 常任理事 鹿島 直子



鹿児島県医師会「若い女性医師たちの支援」

平成30・31年度のメッセージ
「たくましく 前へ」

平成24・25年度：医師の責任と使命

平成26・27年度：育つ 育てる

平成28・29年度：飛躍 強く しなやかに

鹿児島大学医学部で開催したシンポジウムの様子



①医師としての責任と使命の自覚(大学との連携が重要)

- ・卒業証書授与式

- ・大学でのシンポジウム

- 1) 共働き家庭で育った学生や、先輩女性医師の講演

- 2) 産婦人科医師のキャリア形成と地域医療の問題

- 3) 小児科医師のキャリア形成

- 4) 新専門医制度と地域卒学生について

(今年度については、4)のテーマをもう一度と

鹿大病院女性医師等支援センターから要請あり)

②保育・病児保育への取り組み(6年前から保育園訪問)

③勤務環境の整備・意識改革・働き方改革

(差別も区別もない医局、不要な甘やかしは、むしろ弊害)

鹿児島大学病院女性医師支援体制

鹿児島大学病院

病院長

女性医師等支援センター
センター長(兼任)
副センター長(専任教官)

女性医師等支援センター
運営委員会

外科系医師1名

内科系医師1名

薬剤師1名

看護師1名

事務
(総務部労務管理係)

女性医師等支援センター
ワーキンググループ

各診療科・部門から選出された
女性医療職(16名)

鹿児島大学

学長

男女共同参画推進センター

- 女性研究者支援担当
- ワークライフバランス支援担当
- 女性医師等支援担当**
- コーディネーター
- 総務部人事課男女共同参画推進係

支援事業内容

✿ 個別相談(専任教官による面談やメールによる相談)

✿ ホームページによる各種制度や支援情報の紹介

✿ 院内座談会の実施

育児中医療職を対象として年2~3回昼食時間に不定期開催

✿ 部局アンケートの実施

女性医師支援の状況や医員枠削減による女性医師復職への影響を調査

✿ 診療科インタビュー(院内広報誌に掲載)

✿ 院内シンポジウム(12月開催予定)

✿ メンター制度の拡充

研究者支援事業として行われていたメンター制度を拡充し、初期研修医や医員の利用を促進

✿ 鹿児島県(一部宮崎県含む)研修基幹施設院内保育園設置状況調査の実施

院内保育所の設置・運用状況(病児保育・24時間保育・学童保育の有無や空き枠状況)を調査、研修医に公開提供している

鹿児島大学女性医師の勤務環境に関する調査

鹿児島大学病院臨床系の女性医師(常勤・非常勤医師98名)へ出産、子育てに関する設問に限りアンケート調査を行った。

なかでも、育児をしながら勤務している女性医師(アンケート回答数30人)に、過去に妊娠・出産・育児で勤務を退職・休職など経験した理由を聞いた。

- ・体調不良
- ・新しい勤務先で働き始めてすぐに妊娠したため
- ・産休、育休制度がなかったため
- ・子育てと仕事のやりくりが上手くいかず、仕事を続けるストレスが大きかった
- ・産休にすると、人が増やせず後任が勤務できないので、退職を勧められた

鹿児島大学医学部生の将来の医師像に関する調査

鹿児島大学医学部医学科1年～6年の698人に将来の医師像に関するアンケート調査を行った。

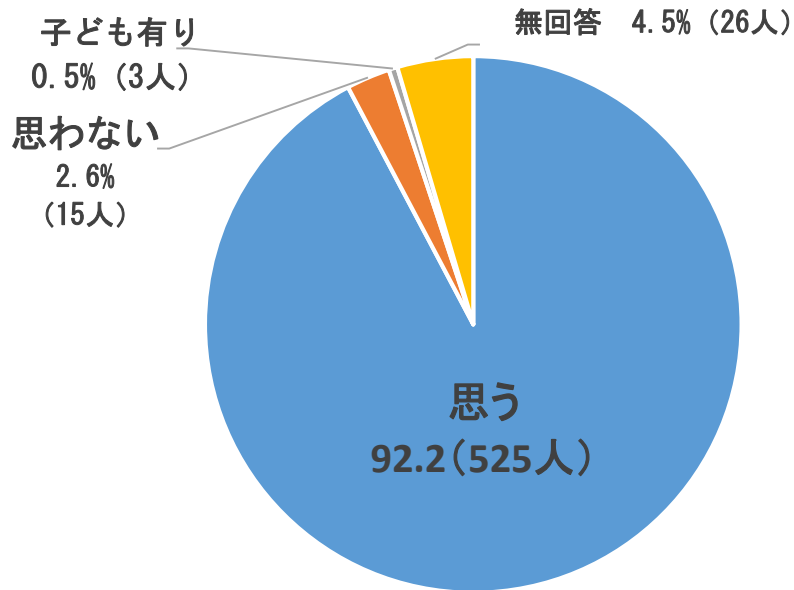
学生数: 698人

回答数: 569人

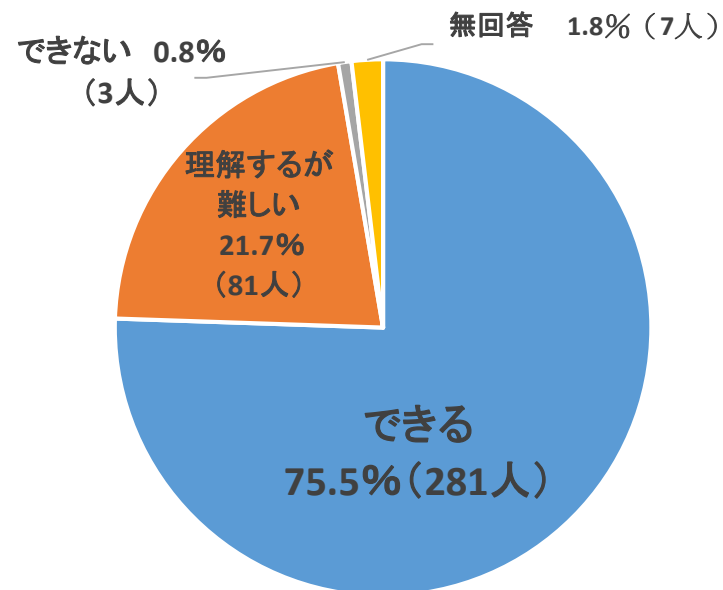
回答率: 81.5%

「共働き」が理想だが、上学年になり、臨床実習の現場を重ねるごとに、医師の仕事の大変さを知り、夫婦とも仕事をしながら、家庭を営むのは容易なことではないと学生たちは実感したようである。特に、男子学生の回答は興味深かった。

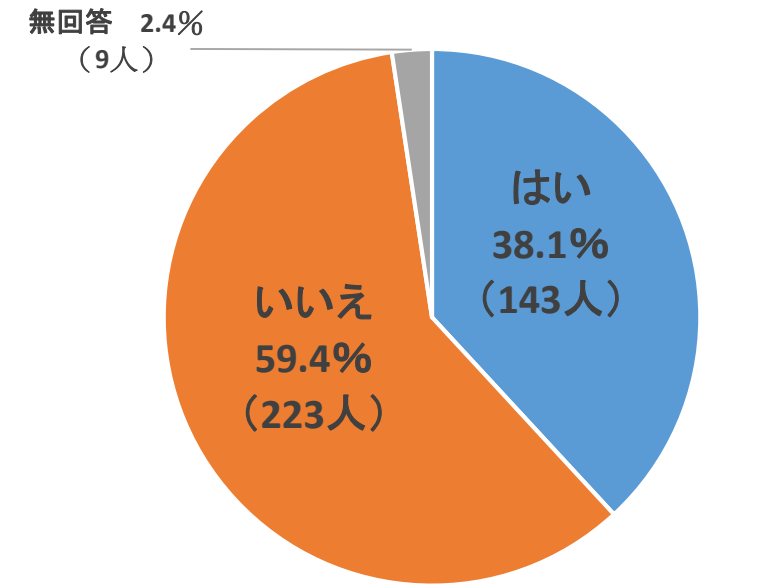
医師である妻のキャリア形成への意識



男女共に聞く
医師と子育ての両立を頑張りたいか

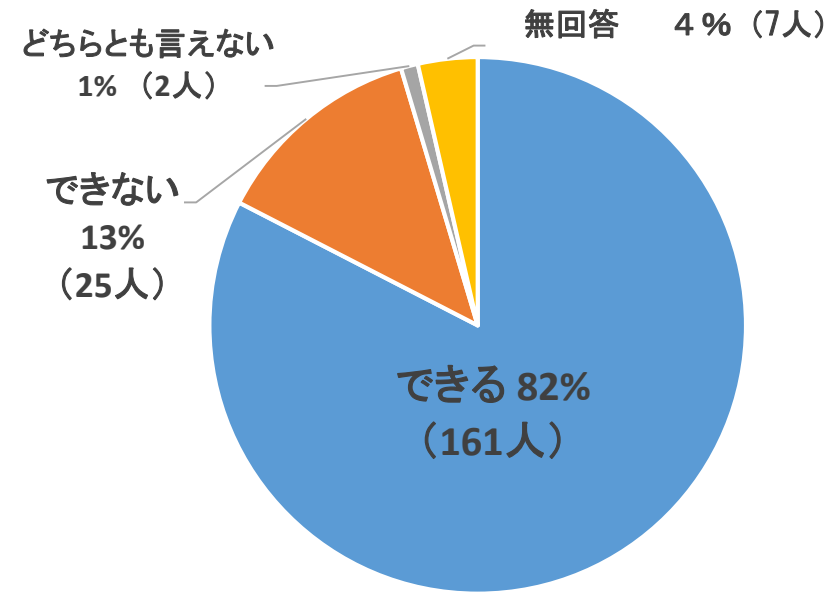


男子のみに聞く
医師の妻の成長に理解を示し
共に子育てができるか



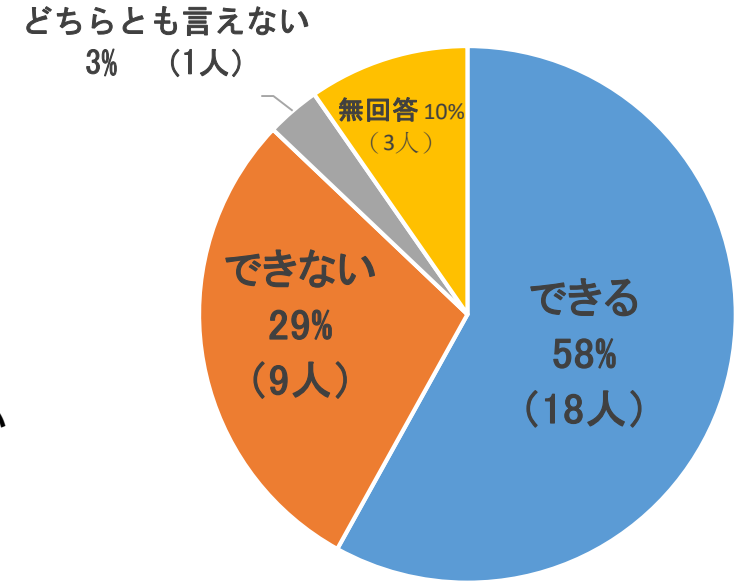
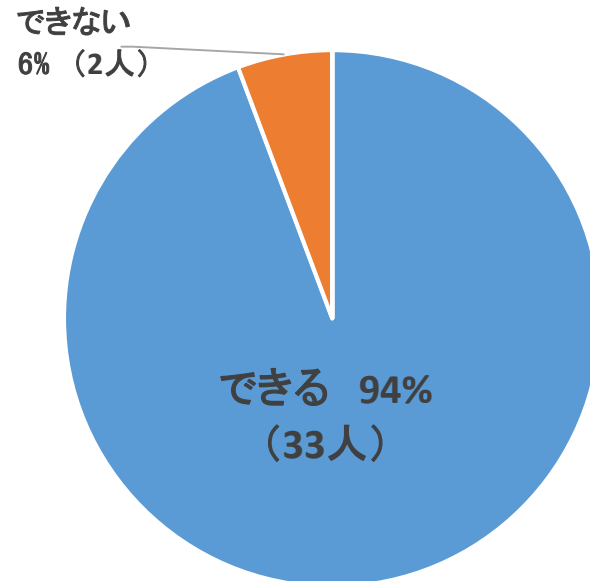
男子のみに聞く
妻が医師である場合
家庭を守り子育てに専念してほしいか

女子学生に聞く 両親のサポートが期待できるか



女子学生に聞く (1~6年生)
子育てとなった時
両親のサポートが期待ができるか

女子学生に聞く (1年生)
子育てとなった時
両親のサポートが期待ができるか



女子学生に聞く (6年生)
子育てとなった時
両親のサポートが期待ができるか

予測される理由
1) 母親の社会進出
2) 介護の問題

勤務環境に関するアンケート

会員医療機関(病院)に対して、勤務環境に関するアンケートを行った。

目的: 県内の病院の女性医師の勤務環境サポート体制を把握する為

期間: 平成30年6月21日～平成30年7月27日

対象数: 235施設

回答: 146施設

回答率: 62.1%

回答のあった146施設について、情報を冊子に作成中

勤務・保育環境について

勤務環境について

勤務環境	設 問		あり	なし	%(あり)
	通常	短時間勤務制度	92	44	63%
複数主治医制		73	60	50%	
年次有給休暇		127	11	87%	
妊娠・出産	当直免除	117	15	81%	
	時間外勤務免除	117	16	81%	
	短時間勤務制度	106	27	73%	
育児	当直免除	116	18	80%	
	時間外勤務免除	115	18	79%	
	短時間勤務制度	112	21	77%	
	育児休業	106	2	73%	

保育環境について

保育環境	設 問		あり	なし	%(あり)
	院内保育	53	89	37%	
病児保育	6	114	4%		
病後児保育	10	110	7%		
学童保育	16	105	11%		

設置予定：1件(平成31年4月から)

県内の病児保育施設について(H30. 5. 1現在)

	事業類型		
	病児対応型	病後児対応型	体調不良型
鹿児島市内	8	0	0
鹿児島市外	17	12	2

院内保育施設訪問

川内市医師会立市民病院 ちゅうりっぷ園
(事業所内保育事業)

○運営費(川内市から)

平成27年度:5000万円弱 (初年度)

平成28年度:5500万円強

平成29年度:6000万円弱

○平成30年度に給食棟を新築

○定員60名(職員枠45名、地域枠15名)

○24時間保育

○病児隔離室あり



病児保育施設訪問

病児保育 ぱふ

(鹿児島市の小児科開設)

○定員9名

○利用時間帯は、平日8:30
～18:30、土曜日8:30～
13:30

○途中からのお預かり可能
まず、保育者と受診する



夏休み学童保育(学習支援塾)訪問

学習支援サービス「なんぷう塾」
(鹿児島市新産業創出支援事業)

2年間で250万円の事業費

- 職員の子を対象に、夏休みに試験的に開始した。
- 先生は、主に地区に住む定年退職後の教職(元校長先生)等
- シニア世代の生涯にわたって健康でいきいきと活躍できる街づくりをコンセプトにしている
- 10月からは15時30分から18時30分の学童保育を開始



これからの保育園

- 保育士さんたち、みんな笑顔いっぱい抱きしめて
- 保育士さんたちの質の確保には、
十分な待遇をしっかりと考えましょう。

勤務環境の整備については、
勤務医委員会と共に頑張りましょう。

